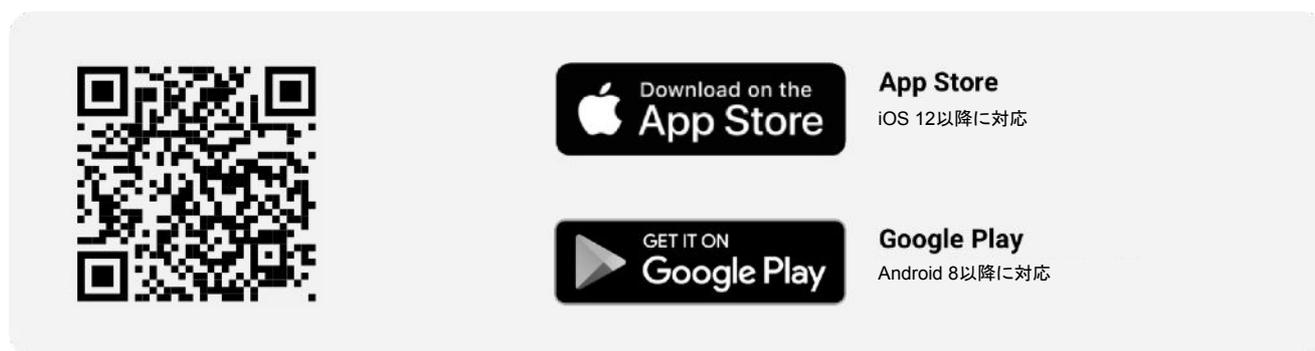


**Spark App**

# ユーザーガイド

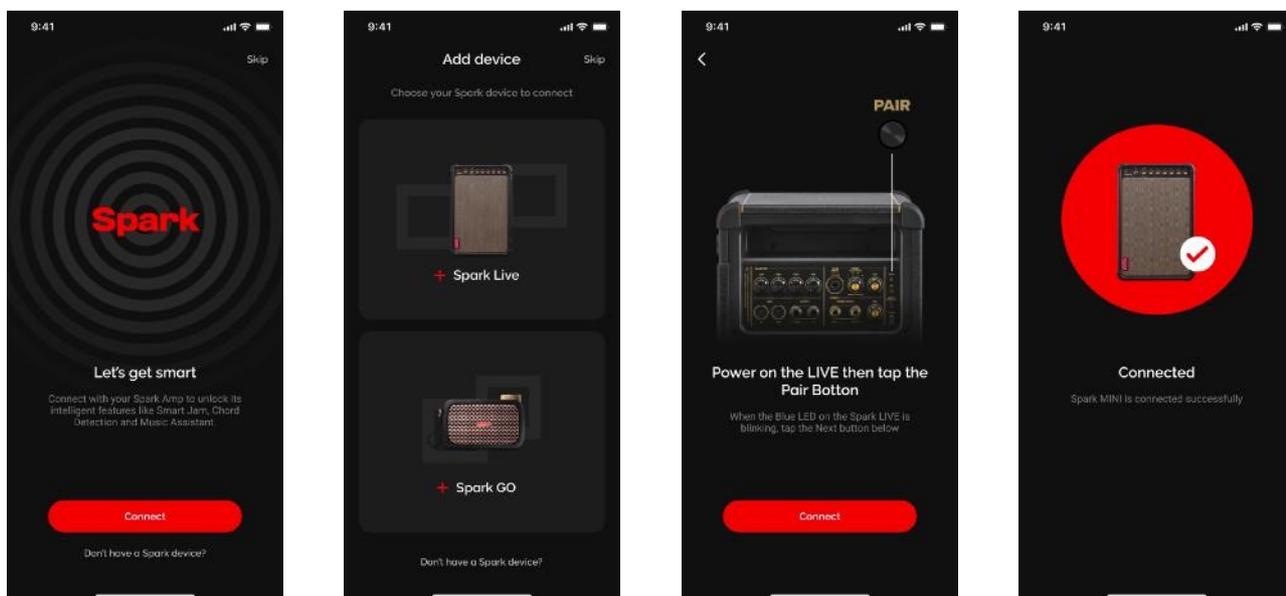
**Spark**

## Spark Appのダウンロード



スマートフォンのOSに対応したSpark Appをダウンロードし、インストールしてください。

## Spark Ampとスマートフォンの接続



- (A) Spark AppがSpark AmpとのBluetooth接続を確立できるように、Spark AppがBluetooth (iOS) または位置情報サービス (Android) にアクセスできるようにしてください。
- (B) スマートフォンとSparkデバイスのBluetoothをオンにします。
- (C) 接続したいデバイスを選択します。
- (D) Spark AmpのPairボタンを押してペアリングモードに入り、Appのconnectボタンをタップします。

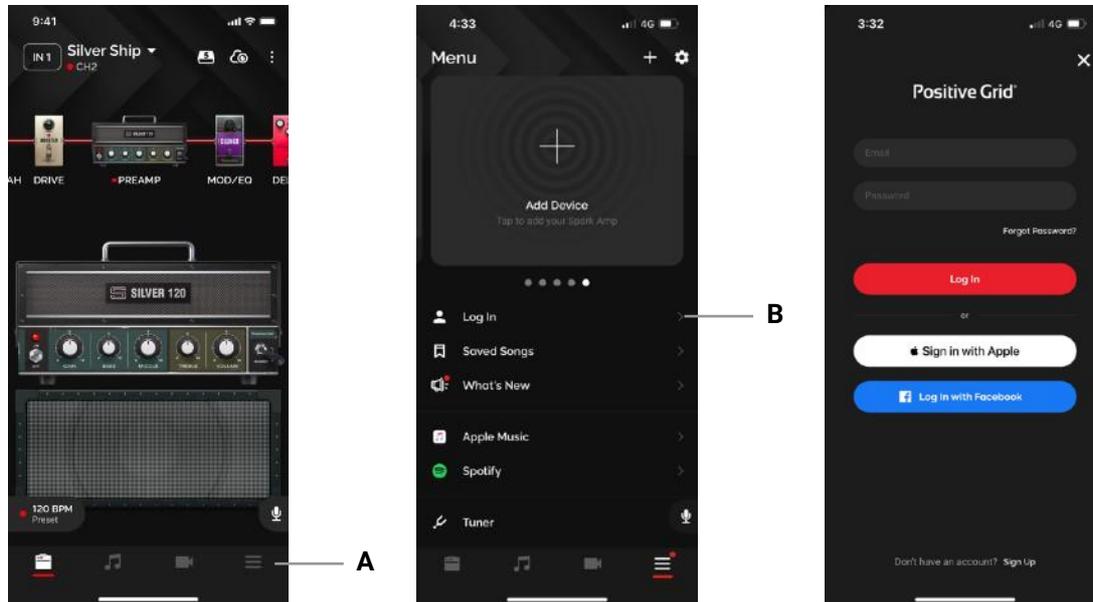
ヒント：Spark AmpをBluetoothスピーカーとしてスマートフォンに接続し、音楽を再生します。音声出力には、アンプとアプリ間の安定した接続が必要です。

ヒント：デバイスの選択は、Spark Appを最初にインストールしたときにのみ行われます。それ以降の接続は、Spark Appを起動したときにconnectボタンを押して行います。

ヒント：アンプに接続できない場合は、近くにある他のBluetooth機器の電源がオフになっていることを確認し、もう一度試してください。

## Positive Gridアカウントにログイン

Positive Gridアカウントにログインすると、ToneCloudからプリセットなどをダウンロードできます。



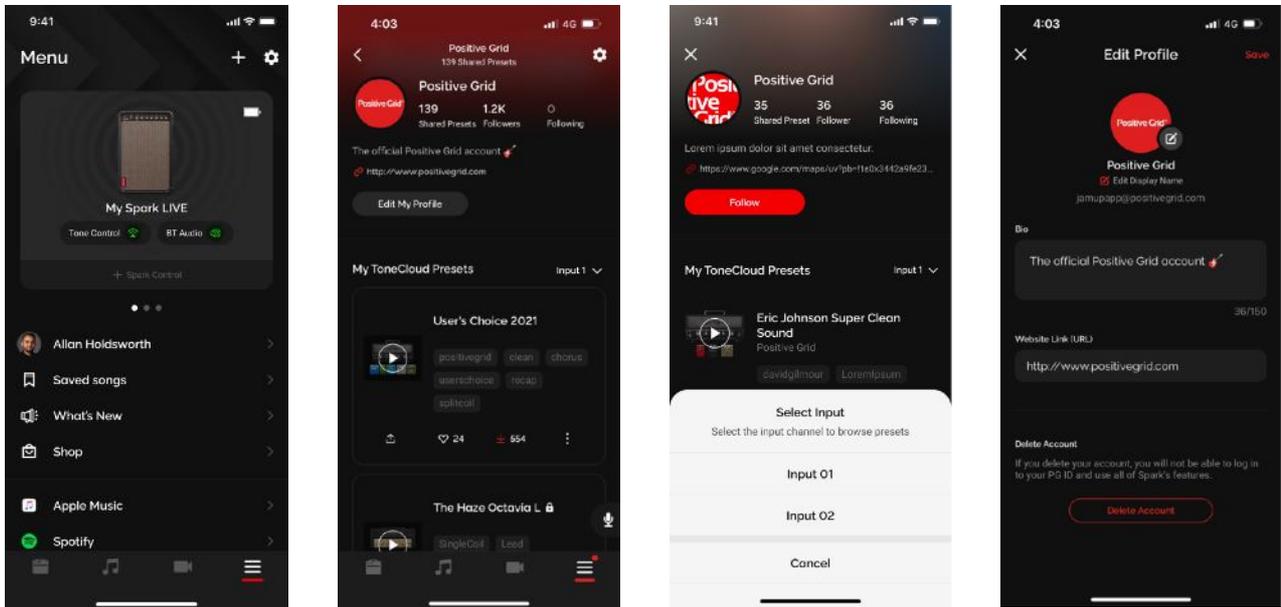
(A) メニューアイコンをタップ

(B) Log Inをタップ

(C) 既存のアカウントでログインするか、Apple IDまたはFacebook IDを使用するか、「SignUp」をタップして新しいアカウントを作成します。

## プロフィールの管理

ToneCloudプリセットを管理し、他のSparkユーザーと共有するためのプロフィールを設定します。



- (A) ログインすると、プロフィールの設定画面が表示され、プロフィールの編集ページが表示されます。Menuページからプロフィールに入り、プロフィールをタップし、Edit My Profile をタップすると、プロフィールを編集することができます。
- (B) 表示名（ToneCloud内で他の人に表示される名前）の編集、経歴やURLの編集、アカウントの削除ができます。
- (C) アイコンをタップしてToneCloudプリセットの詳細を編集し、名前を変更したり、ToneCloudからプリセットを削除することができます。
- (D) アイコンをタップしてログアウトすることもできます。
- (E) Spark LIVEのみ：Select Input をタップすると、さまざまな入力のプリセットが表示されます。

注意: アカウントの削除は永久的なものであり、以前に削除したアカウントでログインすることはできません。

## エフェクトとプリセットの調整

Spark AmpをSpark Appに接続した後、お好みに合わせて設定を微調整したり、工場出荷時のプリセットを閲覧することができます。



(A) シグナルチェーン：

1. 左右にスワイプしてシグナル・チェーンをスクロールします。（モバイル用）
2. 上下にスワイプして、エフェクトのオン/オフを切り替えます。
3. アンプまたはエフェクトのアイコンをダブルタップして、エフェクトを選択します。

(B) エフェクト・セクション：

1. エフェクトのオン/オフ：アンプ/エフェクターのLEDをタップして、エフェクトのオン/オフを切り替えます。
2. トーン・コントロール：ノブを回してパラメーターを調整します。

(C) ToneCloud：右上のアイコンをタップしてToneCloudを開きます。

(D) オプションメニュー：

1. 上書き - 現在のプリセットを上書きします。
2. 新規保存 - 新しいプリセットとして保存します。
3. ToneCloudにシェア - 現在のプリセットをToneCloudに共有します。
4. ハードウェアに保存 - 現在のプリセットをSpark LIVE Ampのプリセットスロットに保存します。

(E) ローカルプリセット - プリセット名をタップすると、スマートフォンに保存したプリセットを選択できます。

プリセット名の下にCH1/2/3/4（Spark LIVEのみ）またはRHYTHM/LEAD/SOLO/CUSTOMとともに赤い点が表示されている場合は、Sparkアンプ本体に保存されているプリセットが現在使用されていることを示します。

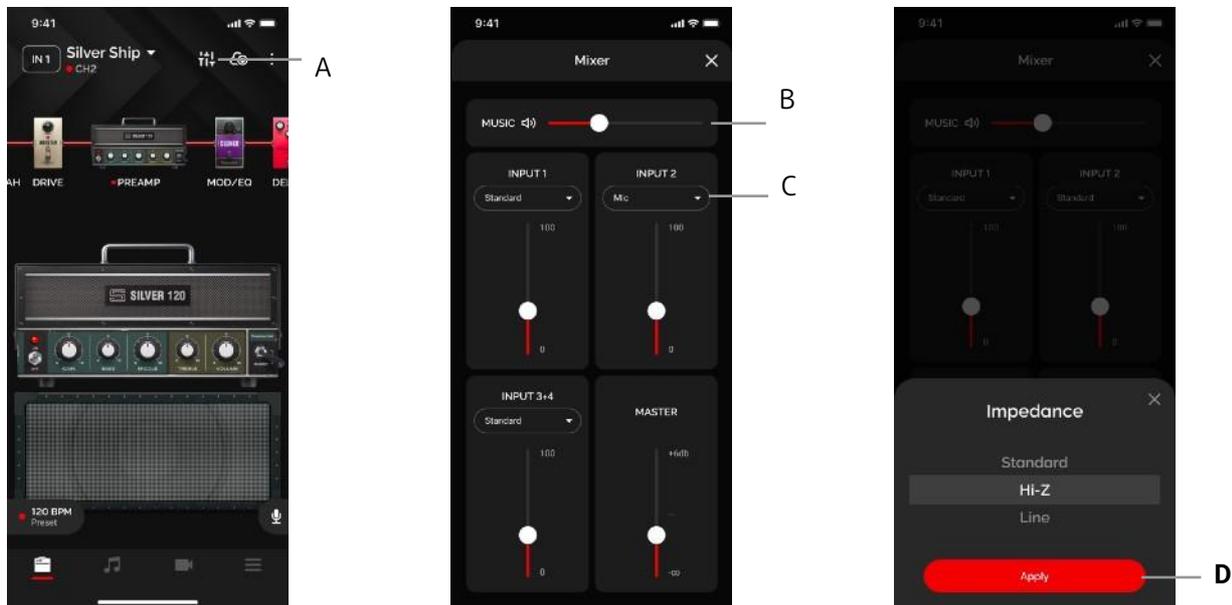
(F)タップ・テンポ - エフェクトのBPMシンク・トグルがオンの時、プリセットにBPMを割り当ててディレイとモジュレーションをシンクします。BPMは3つの方法で調整できます：

- (i) テンポをタップするにはTAPボタンをタップします。
- (ii) BPMの値をタップし、希望のBPMを入力します。
- (iii) または-ボタンをタップすると1BPM単位で調整でき、ボタンを長押しすると10BPM単位でジャンプアップします。

(G) Input Selector（Spark LIVEのみ） - Spark LIVEのInput 1とInput 2を切り替えます。ToneCloudとLocal Presetsメニューには、その入力に対応するプリセットのみが表示されます。（例：Input 1の状態ではToneCloudをタップすると、Input 1に対応するプリセットのみが表示され、その逆も同様）

## Mixer ビュー (Spark LIVEのみ)

Spark AmpをSpark Appに接続した後、お好みに合わせて設定を微調整したり、工場出荷時のプリセットを閲覧することができます。

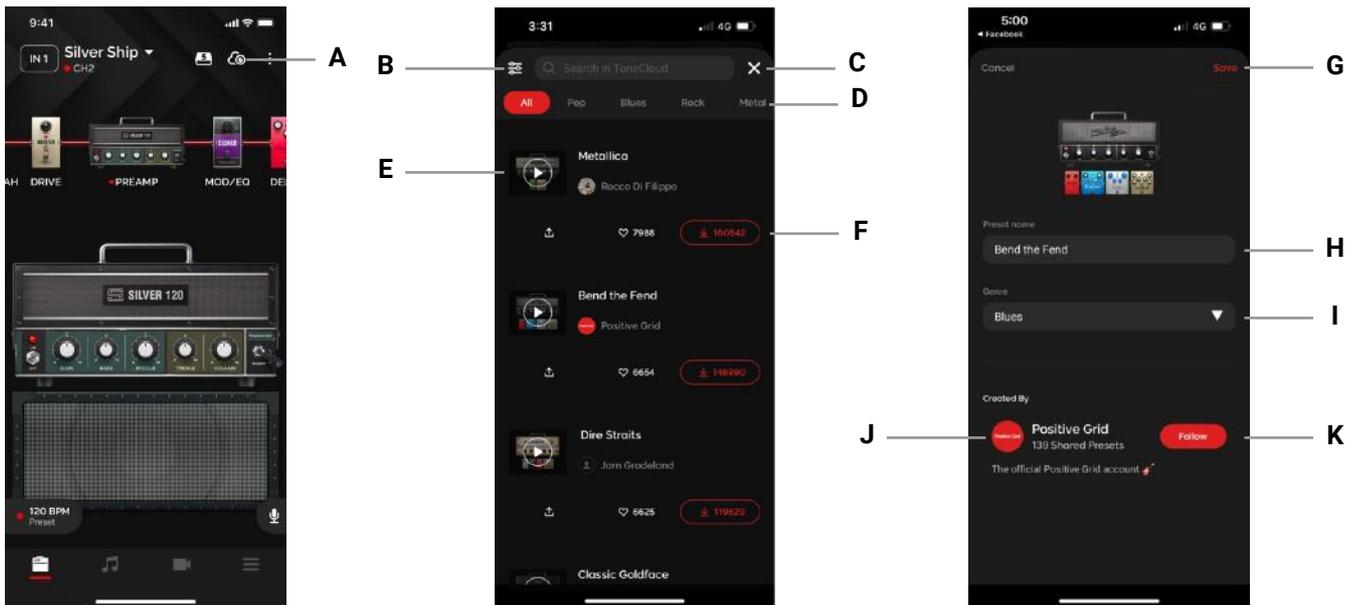


- (A) Mixer・ビュー - アイコンをタップすると、Mixerビューに移動します。
- (B) Music、Input 1、2、3+4、およびマスターボリュームの音量を調整します。
- (C) Impedanceのドロップダウンメニューをタップして、入力のインピーダンスを調整します。
- (D) 希望するインピーダンスを選択したら、Applyをタップして適用します。

## ToneCloud®の探索

ToneCloud®はPositive Gridが開発したプリセット共有システムです。デバイス間でプリセットを同期し、トーンを持って外出したり、プリセットを共有したり、世界中のコミュニティで他のミュージシャンがデザインしたプリセットをダウンロードしたりできます！

### 検索とプリセットアクション

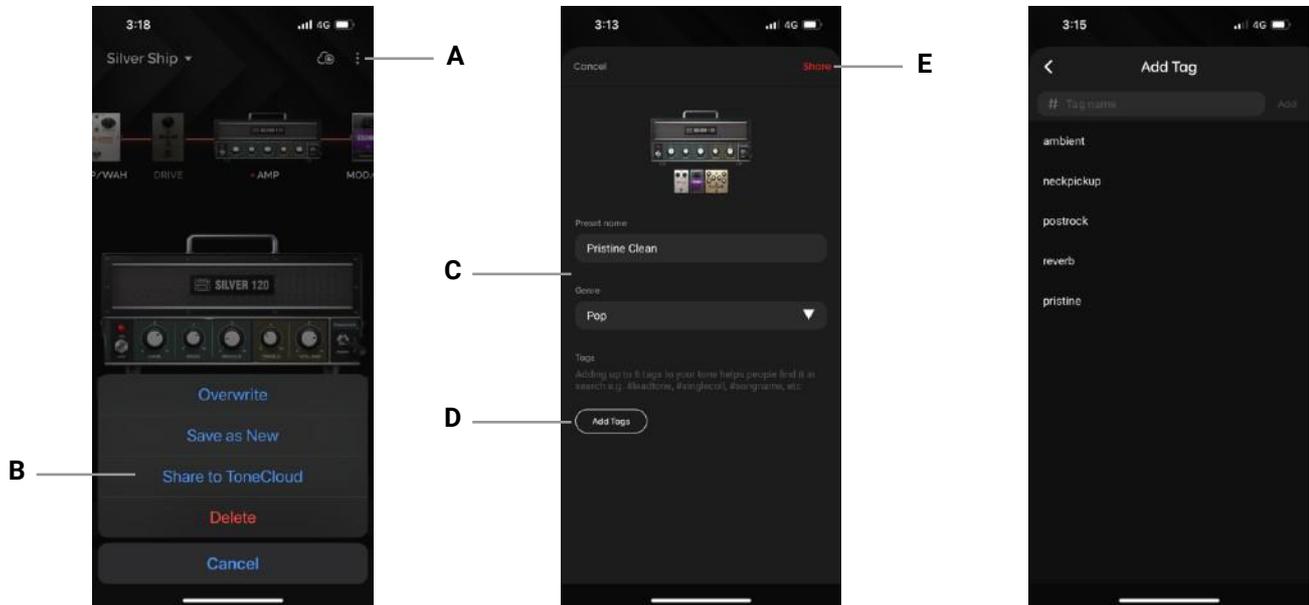


- (A) ToneCloudアイコンをタップして、現在の入力ToneCloudにアクセスします。
- (B) タップしてプリセットを並べ替えます。
- (C) XをタップしてToneCloudを終了します。
- (D) カテゴリーをタップすると、ジャンル別にプリセットを閲覧できます。
- (E) プリセットのサムネイルにあるPlayボタンをタップすると、Spark Ampで実際の音色をプレビュー（試奏）できます。
- (F) 左から、(i) [ToneLink] 共有ボタンをタップして、プリセットへのリンクを外部に共有、(ii) いいね！ボタンをタップして、プリセットをお気に入りに追加、(iii) ダウンロードボタンをタップして、ダウンロードメニューを表示します。
- (G) プリセットをローカルプリセットリストに保存するには、「保存」をタップします。
- (H) 保存する前にプリセット名を変更できます。
- (I) プリセットを表示するジャンルを選択してください。
- (J) Profileをタップして、プリセット作成者のProfileを探索します。
- (K) Followをタップしてクリエイターをフォローすると、そのクリエイターのプリセットがToneCloudのFollowingカテゴリーに表示されます。

簡単なヒント：ToneCloudは、現在アサインしている入力に対応するプリセットのみを表示します。（Spark LIVEの場合）

## 自分のプリセットをToneCloudに共有する

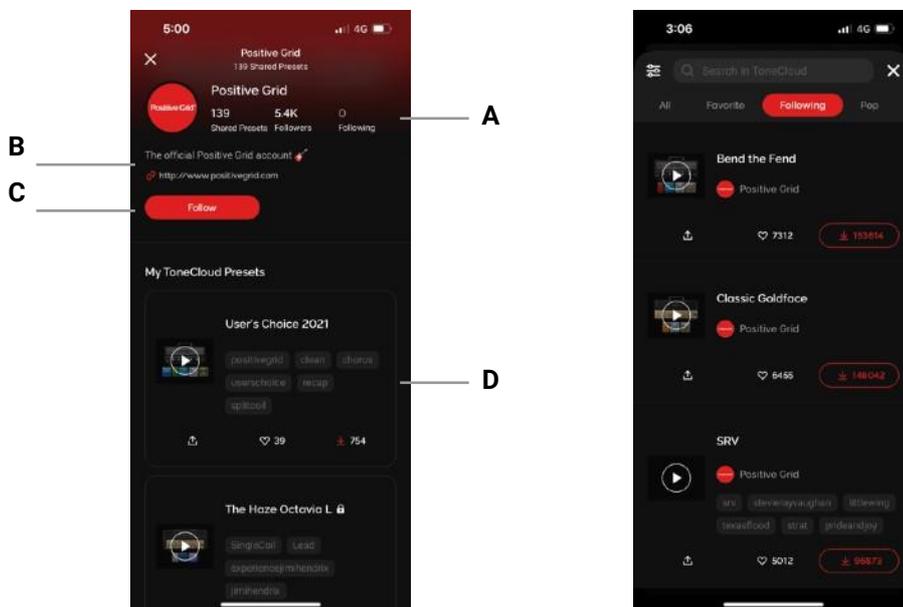
自分でデザインしたプリセットを共有して、Sparkコミュニティの他の人たちに楽しんでみましょう。



- (A) トーンページの右上  をタップします。
- (B) 「ToneCloudにシェア」をタップします。
- (C) プリセットの名前を変更し、ジャンルを選択します。
- (D) 最大6つのタグを追加することで、他の人があなたのプリセットを検索しやすくなります。タグの例としては、使用したピックアップ（シングルコイル、ハムバッカーなど）、使用したピックアップポジション、トーンの特徴（アンビエント、クランチ、ハイゲインなど）、使用方法（リード、リズム、ソロなど）、アーティストや曲などがあります。
- (E) 「シェア」をタップすると、ToneCloudに共有されます。

## 他の人のプロフィールを見る

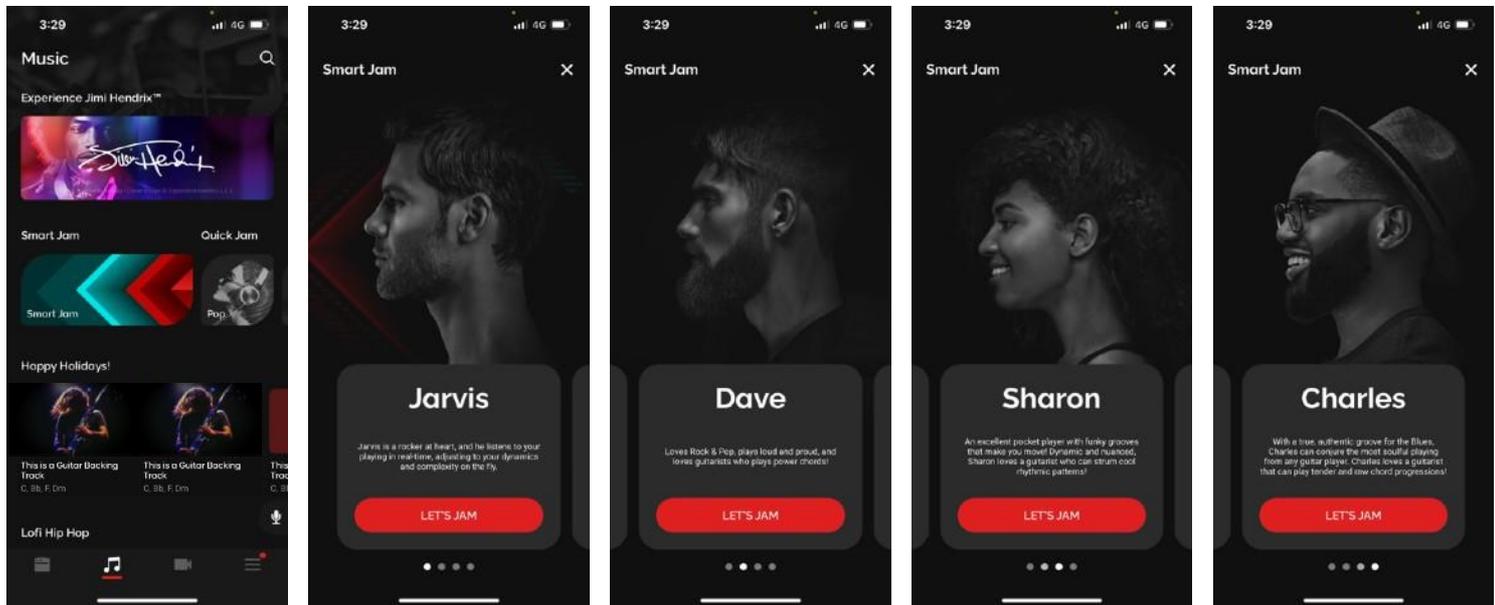
Sparkコミュニティの他のミュージシャンを知り、彼らのプロフィールをフォローしましょう。



- (A) プロフィールの所有者が誰をフォローしているか、または誰にフォローされているかを確認するには、「Follow」または「Following」をタップします。
- (B) プロフィールの経歴を読むか、リンクをタップして彼らについてもっと知ることができます。
- (C) ToneCloudのFollowingカテゴリにプリセットが表示されます。
- (D) プロフィールの所有者がToneCloudに共有したプリセットを検索できます。

## スマートジャムの使用

Spark Ampと Appが一体となってあなたのスタイルとフィーリングを学習し、本格的なドラムとベースのトラックを生成します。



SparkデバイスのBluetooth Audioに接続されていることを確認してから、ミュージックページをタップし、Smart Jamのバナーをタップします。左右にスワイプして、4人のドラマーから1人を選択します。

### -Jarvis

Jarvisはロック・スタイルのドラマーで、あなたが演奏している間、あなたのダイナミクスとフィーリングを聴き、より大きな、あるいはよりソフトなヒット、よりシンプルな、あるいはより複雑なグルーヴをリアルタイムでフィードバックしてくれます。詳しくは後ほど。

### -Dave

Daveはロックスタイルのドラマーです！ Daveはあなたのコードを聴き、演奏した内容に合わせて、ヴァース、コーラス、ブリッジ、そしてまたコーラスという曲の構成に沿ったバックング・トラックを作ります。

### -Sharon

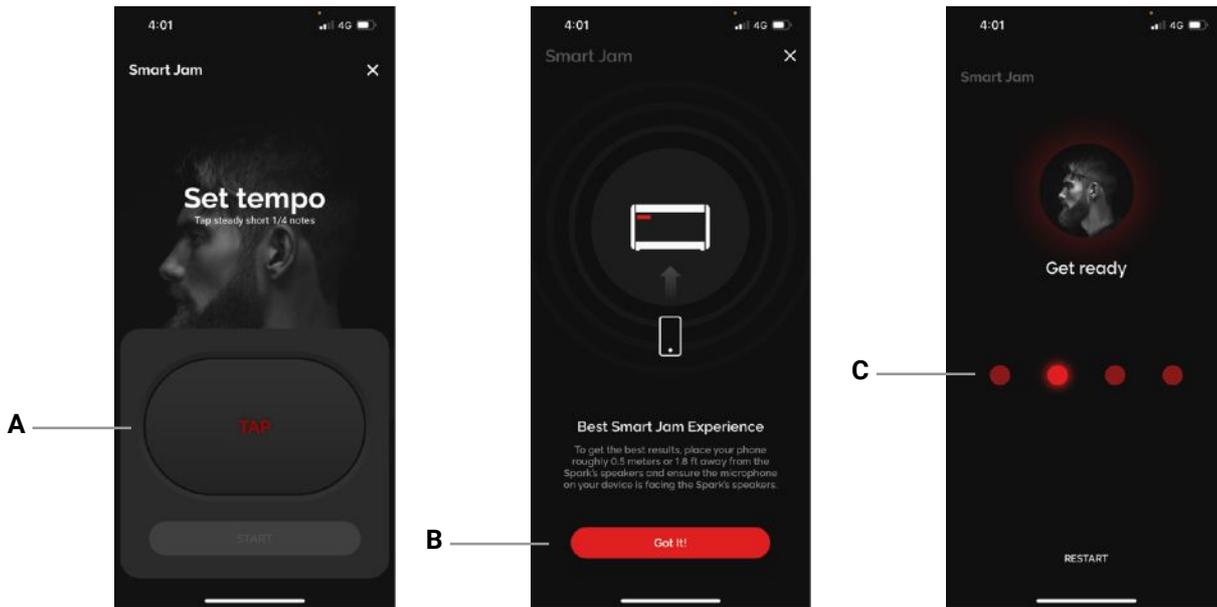
Sharonはファンク・スタイルのドラマーで、思わず体が動いてしまうようなグルーヴが特徴です！ また、Sharonはあなたのコードを聴き、最初のコード進行と打ち込みパターンに従って曲の構成に沿ったバックングトラックを作成します。

### -Charles

Charlesはブルース・スタイルのドラマーで、あなたのソウルフルなプレイを最大限に引き出します。Charlesと一緒になら、ストレートとシユアなフィーリング、8小節か12小節のブルース進行を選ぶことができます。

フィーリングとBPMを選んだら、好きなコード進行を弾き始め、ブルースに身を任せましょう！

## Dave / Sharon / Charlesと演奏する

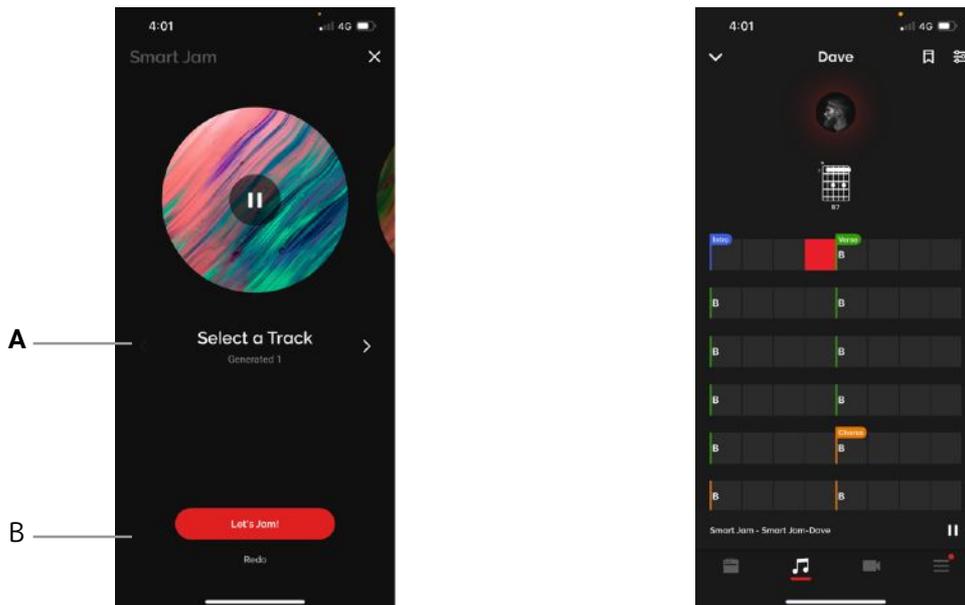


- A. TAPボタンをタップしてテンポを設定します。最初のテンポを設定したら+/-で1刻み、ボタンをタップしたまま開始ボタンをタップすると10刻みで調整できます。
- B. Smart Jamを初めてお使いになる場合は、Sparkのスピーカーから約0.5メートル（1.8フィート）離して、マイクがSparkアンプのスピーカーに向くようにデバイスを置くと、最良の結果が得られます。
- C. 4拍子でカウントされます。クリック音が聞こえない場合は、お使いのデバイスがSparkのBluetoothオーディオに接続されているか、デバイスとSparkの音楽の音量が上がっているかをご確認ください。

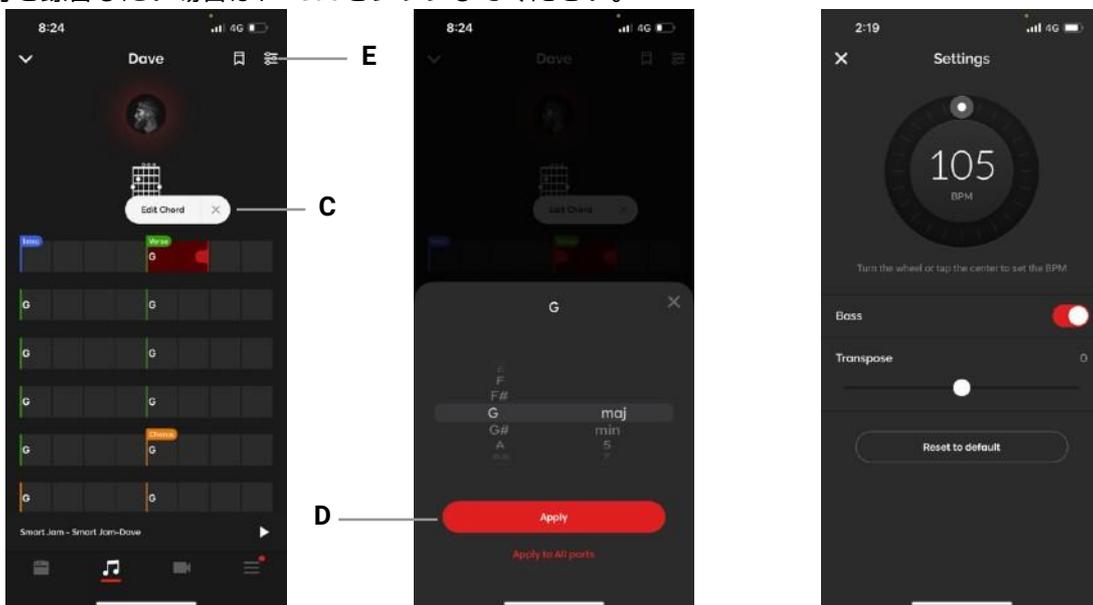
- D. ドラマーは最初の4拍の後にあなたの演奏を聴きます。現在、Smart Jamのドラマーはすべて2拍ごとに1コードをサポートしています。画面下部の赤いバーを必ず確認してください。赤い線が画面全体を横切っている場合は、デバイスのマイクをクリップしていることを意味し、正確な結果が得られない可能性があります。
  1. 最大8小節まで演奏することができますが、コード進行が4小節しかない場合は、画面上でハイライトされているときにチェックマークボタンをタップすると、最後の4小節をスキップすることができます。
  2. 分析が完了したら、ドラマーが作成した6つのトラックの中から、最も気に入ったトラックを選択してください。左右にスワイプして各オプションをスクロールし、トラックをレビューしてください。



## Dave / Sharon / Charlesと演奏する



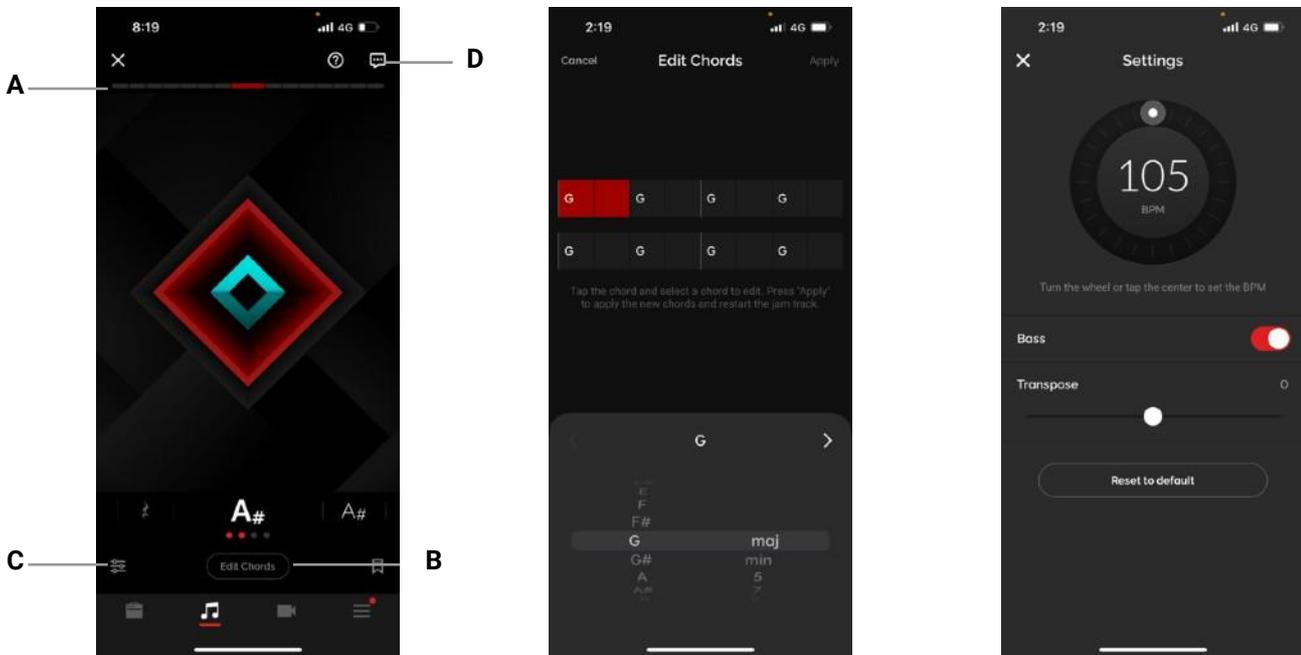
- A. 分析が完了したら、ドラマーが作成した6つのトラックの中から最も気に入ったものを選択してください。左右にスワイプするか、矢印アイコンをタップすると、各オプション間をスクロールし、トラックをプレビューできます。
- B. トラックを選択すると、ジャムを開始できるSmart Jamの詳細ページに移動します！ 別のコード進行を録音したい場合は、Redoをタップしてください。



- C. コードを編集するには、トラックを一時停止し、いずれかのコードを長押ししてから「コードを編集」をタップします。赤いインジケータを選択領域の右にドラッグして、複数の小節を選択します。
- D. 希望のコードに変更したら、「適用」をタップして選択した範囲だけにコード変更を適用するか、適用をタップしてすべてのパートにコード変更を適用して、Smart Jamトラックのすべてのセクションにコード変更を適用します。
- E. 右上の「Settings」アイコンをタップすると、Smart Jamの設定メニューが表示され、BPMの調整、ベーストラックのオフ、転調：トラックのトランスポーズ（半音単位、最大1オクターブアップまたはダウン）を行うことができます。「デフォルトにリセット」をタップすると、分析した初期設定または保存した設定にリセットされます。

## Jarvisと演奏する

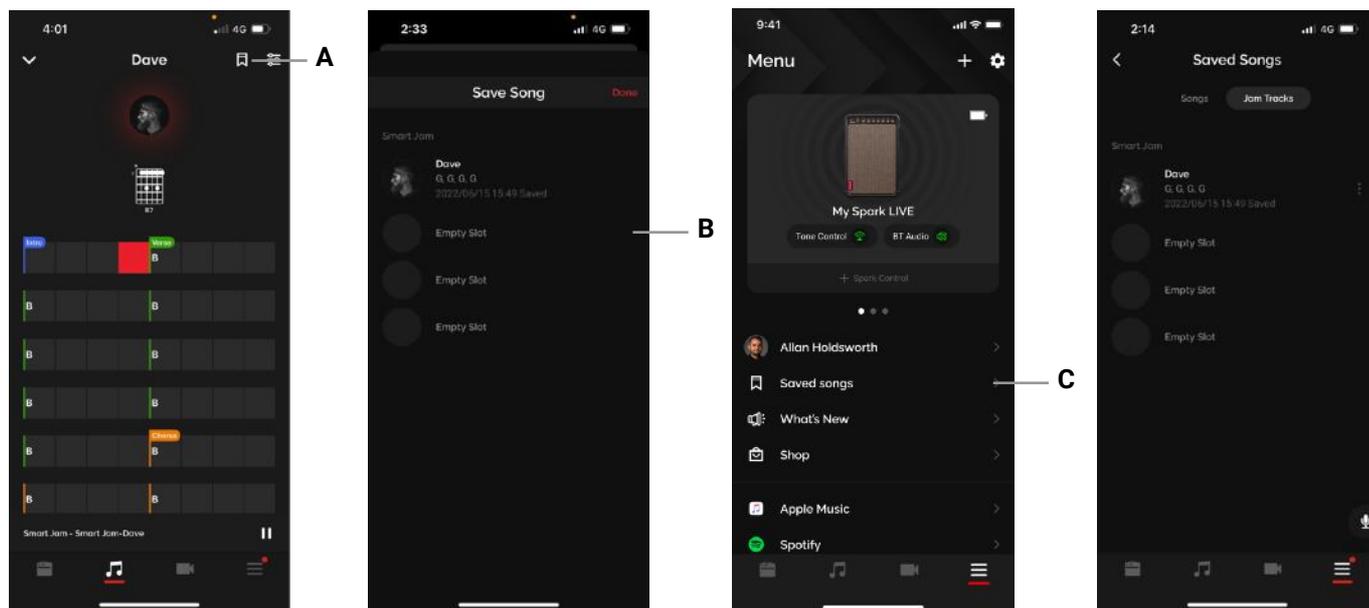
Jarvisのユニークな点は、あなたの演奏をリアルタイムで聴き、演奏中のダイナミクスや演奏の複雑さに合わせて変化させることです。



Dave/Sharon/Charlesと同様にプレーする手順に従ってください：

- A. 最高のリアルタイム・ジャミングを体験するには、Jarvisとの最初のプレイスルーで、一番上の赤いバーを観察し、以下のキャリブレーションを行ってください：
  - 1.最も大きな音量で演奏する場合、一番上の赤いバーが最大に近い場所になっていることを確認します。最大になっている場合は、デバイスのマイクがクリップしていることを示しています。
  - 2.最も静かなプレイレベルでは、一番上の赤いバーがおよそ3つの赤いブロックになるようにしてください。この最小範囲と最大範囲は、より良い動的検出を行います。
  - 3.ギターの音量はバックング・トラックよりも大きくしてください。ギターとバックング・トラックの音量バランスは、だいたい2:1か2:1.5を目安にしてください。そうすることで、Jarvisがあなたのギター演奏を察知しやすくなります。
- B. コードを編集するには、[コードを編集] ボタンをタップし、編集したいコードを選択します。希望のコードを変更したら、適用をタップして変更をトラックに適用します。
- C. 左下の設定アイコンをタップすると、ジャム・トラックの設定を変更できます。テンポを調整したり、ベースをオフにしたり、トラックを半音単位や1オクターブ上下にトランスポーズしたりできます。「デフォルトにリセット」をタップすると、分析または保存されたバージョンのトラックにリセットされます。
- D. ページ右上のフィードバックアイコンをタップしてフィードバックを残し、Jarvisの使い方を確認するには、その横にあるヘルプアイコンをタップしてください。

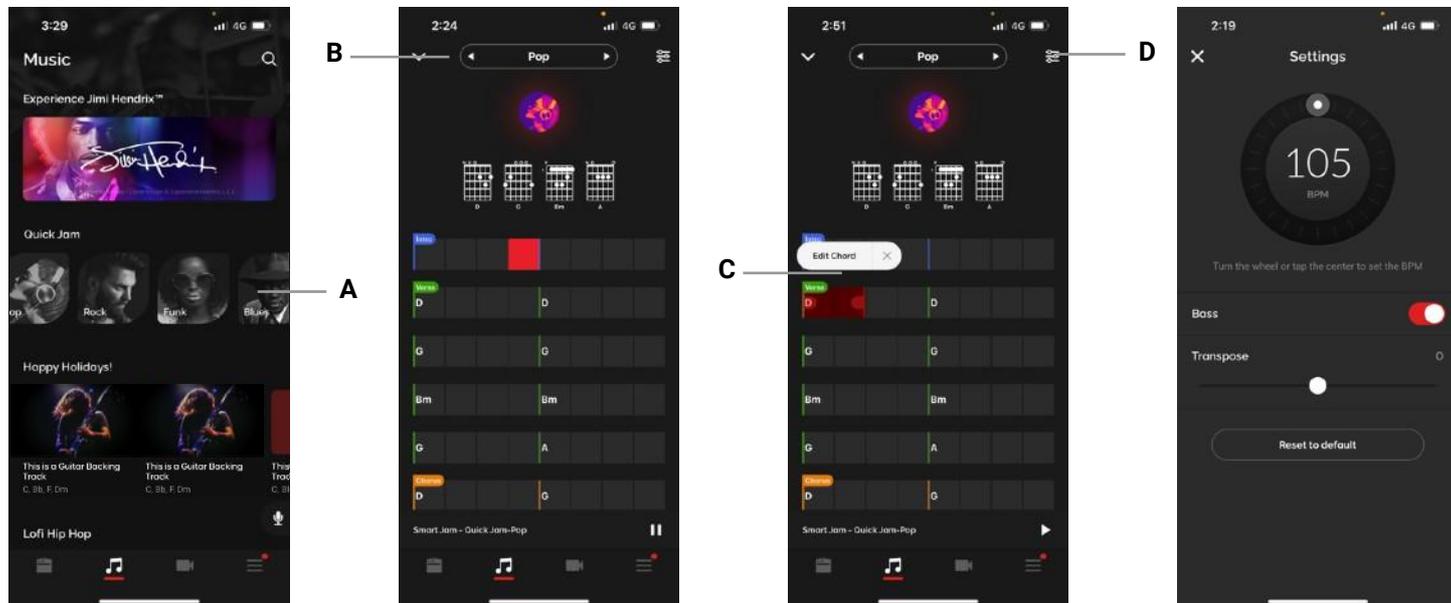
## バックイングトラックの保存



- A. すべてのドラマーのSmart Jam詳細ページにあるブックマークアイコンをタップすると、バックイングトラックを保存できます。
- B. 保存スロットを選択して、バックイングトラックを保存します。
- C. メニューの [保存された曲] ページから保存したJam Tracksにアクセスし、[Smart Jam]タブを選択します。希望のジャム・トラックをタップして、以前に保存したスマート・ジャム・トラックをロードします。🔗 アイコンをタップして、トラックの名前を変更したり、スロットからトラックを消去することもできます。

## Quick Jamの開始

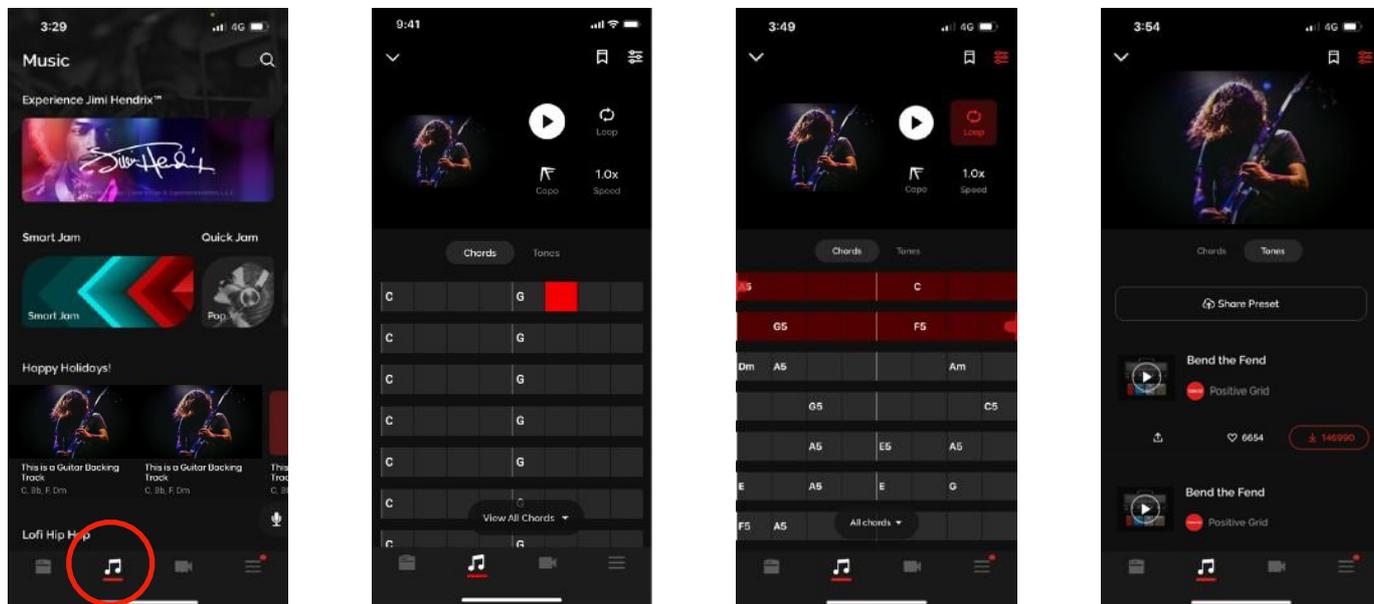
Quick Jamは、Smart Jamと同じオーディオ・エンジンを使用したバックング・トラックで、コード進行やグループがプリセットされています。



- A. Quick Jamにアクセスするには、ミュージック・ページを開き、Smart Jam/Quick Jamのバナーを横方向にスクロールして、利用可能なジャンルを確認します：Pop、Rock、Funk、Blues。ジャンルをタップするとバックングトラックがスタートします。
- B. ページ上部のジャンルの横にある左右の矢印をタップすると、ジャンルごとにデザインされた曲を切り替えることができます。
- C. トラックを一時停止してからコードを長押しし、Smart Jamと同じ手順でコードを編集します。
- D. 右上の設定アイコンをタップして設定を調整します。テンポを調整したり、ベースをオフにしたり、トラックを半音単位で1オクターブ上下に移調したりすることができます。“Reset to default”をタップすると、トラックは最初のデフォルト状態にリセットされます。
- E. 変更された内容は自動的に保存され、Quick Jamを起動すると自動的に読み込まれます。

## Auto Chordとトーンの使用

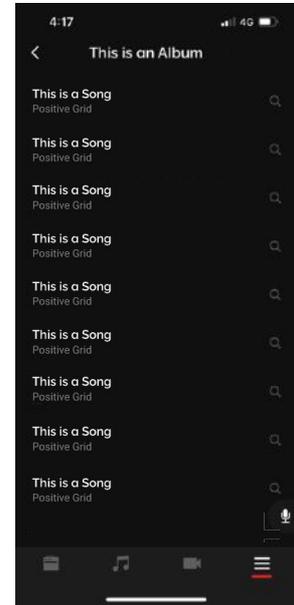
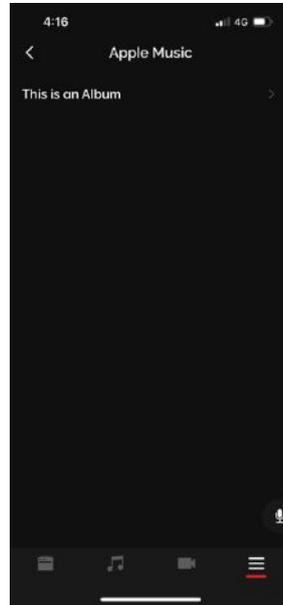
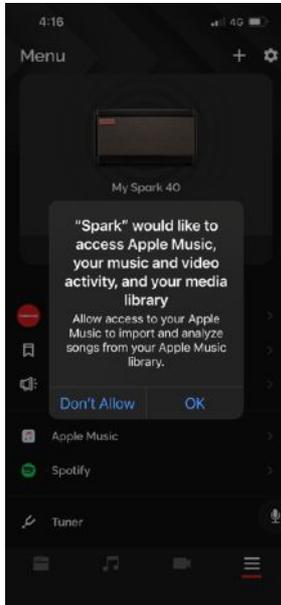
好きな曲を選ぶと、Sparkが演奏に合わせて自動的にコードをリアルタイムで表示します。直感的なコントロールで、曲のテンポを遅くしたり、難しい部分をループさせたりすることも簡単です。



- (A) ミュージック・ページに移動し、キュレートプレイリストをタップして、それらのプレイリストの曲を学習します。
- (B) ミュージックページ上部の検索バーで、お好きな曲を検索してください。
- (C) 右上の「設定」アイコンをタップし、音楽ツールにアクセスします。
  1. ループをタップし、ハンドルをドラッグして選択した部分をループさせます。
  2. カポをタップすると、コードがカポされ、標準的なオープン・コードで演奏できるようになります。
  3. スピードボタンをタップすると、トラックのスピードを0.5/0.8/1.0倍速に変更し、遅いテンポで練習することができます。
- (D) Tonesをタップすると、他のユーザーによるとその曲におすすめのトーンが表示されます。自分のToneCloudプリセットをアップロードして、増え続けるプリセット・ライブラリに貢献しましょう！

## SpotifyとApple Musicの接続

SpotifyとApple Musicのアカウントを接続して、保存したアルバムをSpark Appにインポートできます。

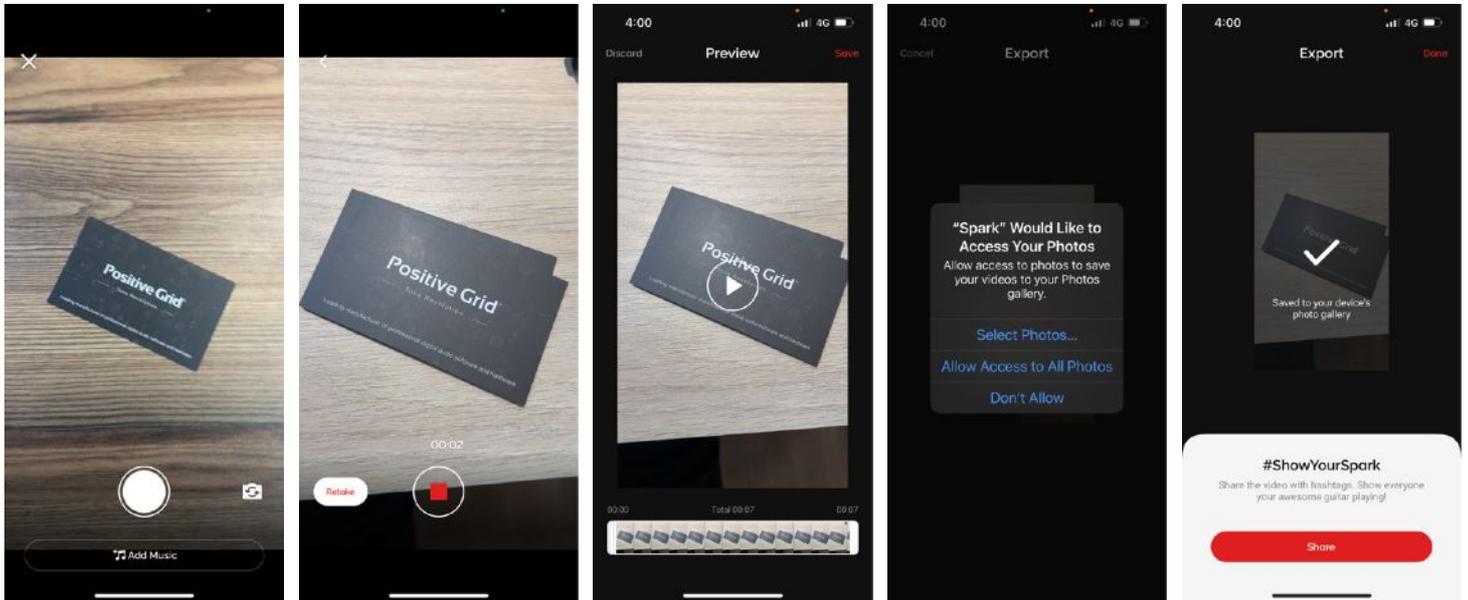


- (A) メニューページに移動し、SpotifyまたはApple Musicをタップします。
- (B) SpotifyまたはApple Musicのアカウントにログインしてください。
- (C) Apple MusicまたはSpotifyのリストから希望のアルバムを選択し、メニューページの「保存された曲」にアルバムをインポートします。

ヒント：SparkがSpotifyまたはApple Musicのアカウントにアクセスできることを確認してください。

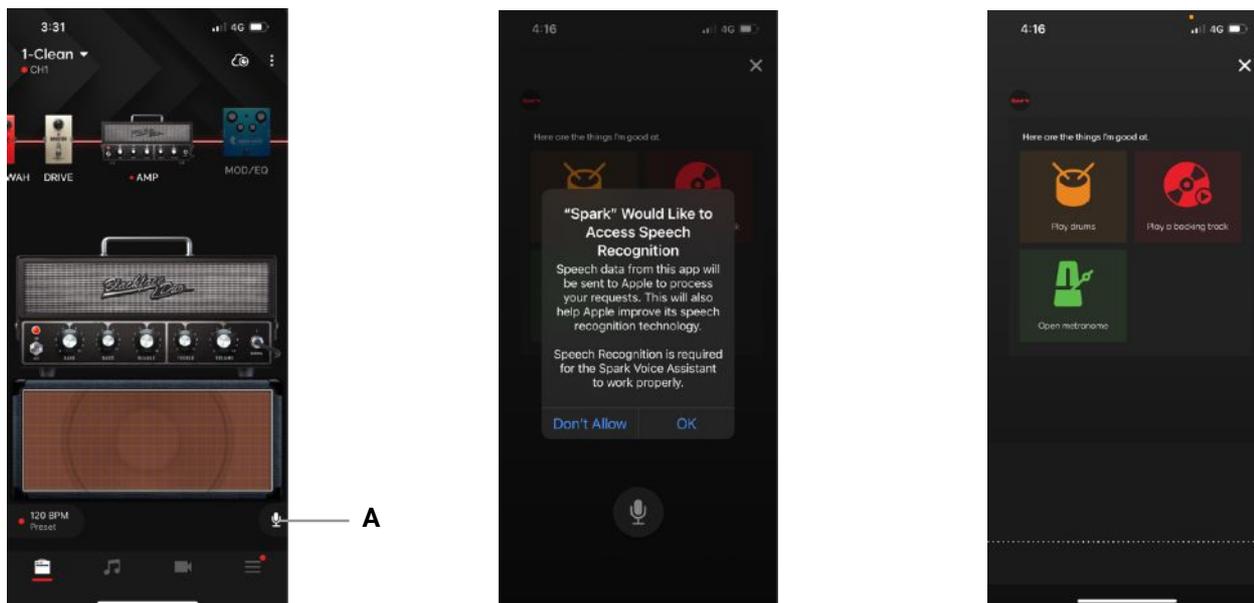
## ビデオ録画の使用

Spark App内でギター演奏のビデオを録画して、アイデアやカバーをソーシャルメディアで共有できます。



- (A) ビデオアイコンをタップして、ビデオ録画機能を開きます。
- (B) 「曲を追加」をタップすると、Smart Jamのバックトラックやローカルに保存された音楽ファイルが追加され、録音中に再生することができます。
- (C) カメラのflipアイコンをタップして、デバイスのフロントカメラとバックカメラを切り替えます。
- (D) 録画ボタンをタップすると録画が開始され、もう一度タップすると録画が停止されます。
- (E) 「リテイク」をタップすると、最初のビデオを止めずに別のテイクを開始できます。
- (F) ビデオの録画が終わったら、プレビュー画面でビデオの最初と最後を好きな長さにトリムすることができます。
- (G) 「保存」をタップして、ビデオをカメラロールにエクスポートします。ビデオを保存するには、Appがフォトライブラリにアクセスできることを確認してください。
- (H) ソーシャルメディアやメッセージングプラットフォームに共有するには「共有」を、続行するには「完了」をタップします。

## 音声コマンドの使用



### (A) 音楽アシスタント

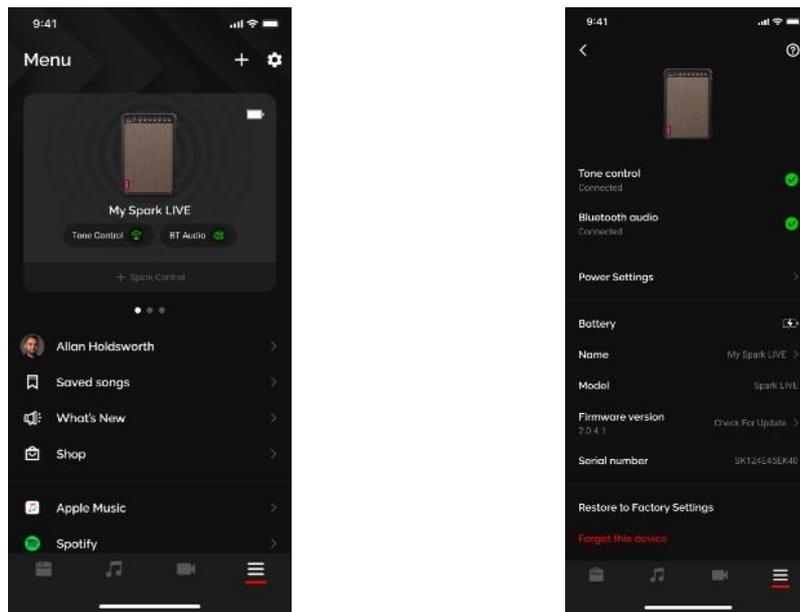
1. マイクのアイコンをタップします。ほとんどのページで利用できます。
2. 音声認識機能が正しく動作するように、音声認識とデバイスのマイクの許可を必ず許可してください。
3. 以下の音声コマンドをスマートフォンに話しかけてください。また、画面上のクイックコマンドをタップすることもできます。
  1. ドラムを演奏 - スマートジャムと同じ
  2. バッキングトラックの再生 - カスタムバッキングトラックを再生します。
  3. メトロノーム - Sparkの内蔵メトロノームを開く

### (B) 音声コマンド言語サポート

1. 英語
2. 日本語

ヒント：音声コマンド機能には3つのクイックコマンドがあります。お試しください！

## デバイス情報と調整



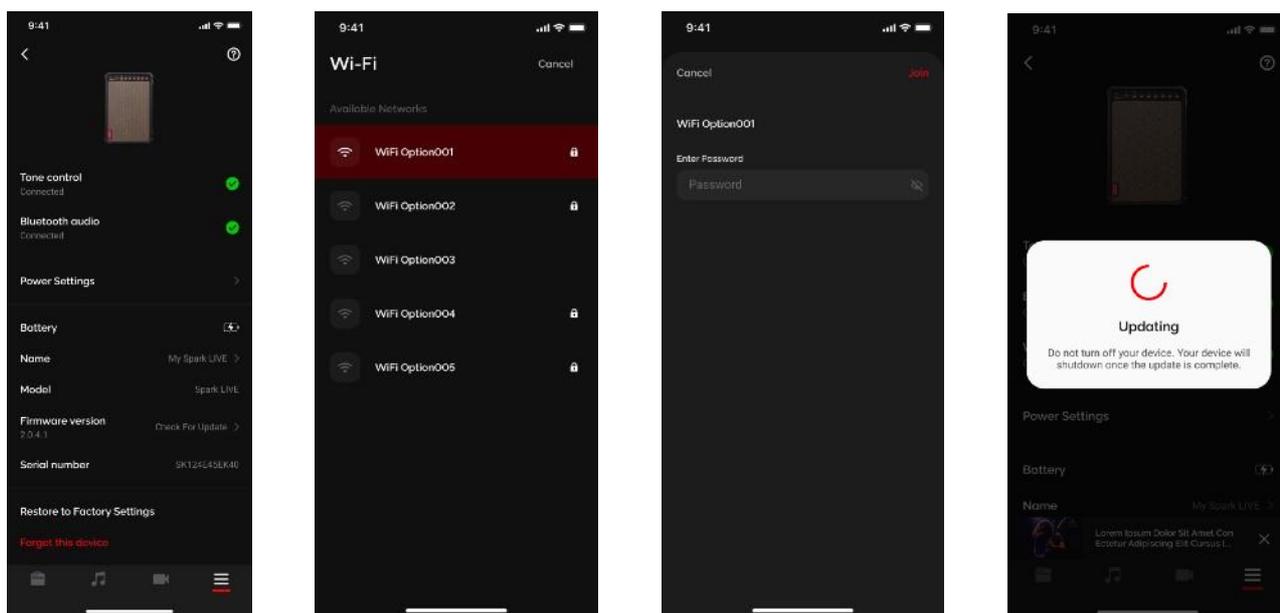
Spark Ampを接続すると、メニューページからデバイス情報にアクセスできます。接続後、メニューの上部にあるデバイスをタップしてデバイス情報にアクセスし、いくつかの設定を調整したり、ステータスを確認したりできます。

1. トーンコントロールとBluetoothオーディオ - デバイスとSpark Amp間のBluetooth接続の状態を表示します。
2. Power Settings - Power Settings（電源設定）では、Spark Ampの自動スタンバイ機能と自動シャットダウン機能を調整し、バッテリーの寿命を節約できます。（Spark LIVEおよびMINI、GOモデル）

Spark Amp は、バッテリーの寿命を保つため、音声を検出されない時間が設定されると、自動的に低電力状態に入ります。（Spark LIVEおよびMINI、GOモデル）スタンバイ・モードに入るまでの時間は、このメニューで調整できます。Spark Ampがこの状態にある間、楽器出力と音楽再生は一時的に無効になります。オーディオ出力を再び有効にするには、接続した楽器を演奏するか、オーディオ再生を開始してください。

3. Battery - デバイスのバッテリー状態を表示します。
4. 名前 - Sparkに接続する際のSparkアンプの表示名を変更します。
5. モデル - Sparkアンプのモデルを表示します。
6. ファームウェア - Sparkアンプにインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
7. シリアルナンバー - Sparkアンプのシリアル番号が表示されます。
8. Restore to Factory Settings - すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。
9. このデバイスを削除する - このデバイスを接続デバイスリストから削除します。

## Spark LIVEのファームウェアのアップデート



Spark LIVEには、Wi-Fi経由でファームウェアをアップデートする機能があります。インターネットに接続されたWi-Fiアクセスポイントの近くにいることを確認し、指示に従ってファームウェアをアップデートしてください：

### Wi-Fiへの接続

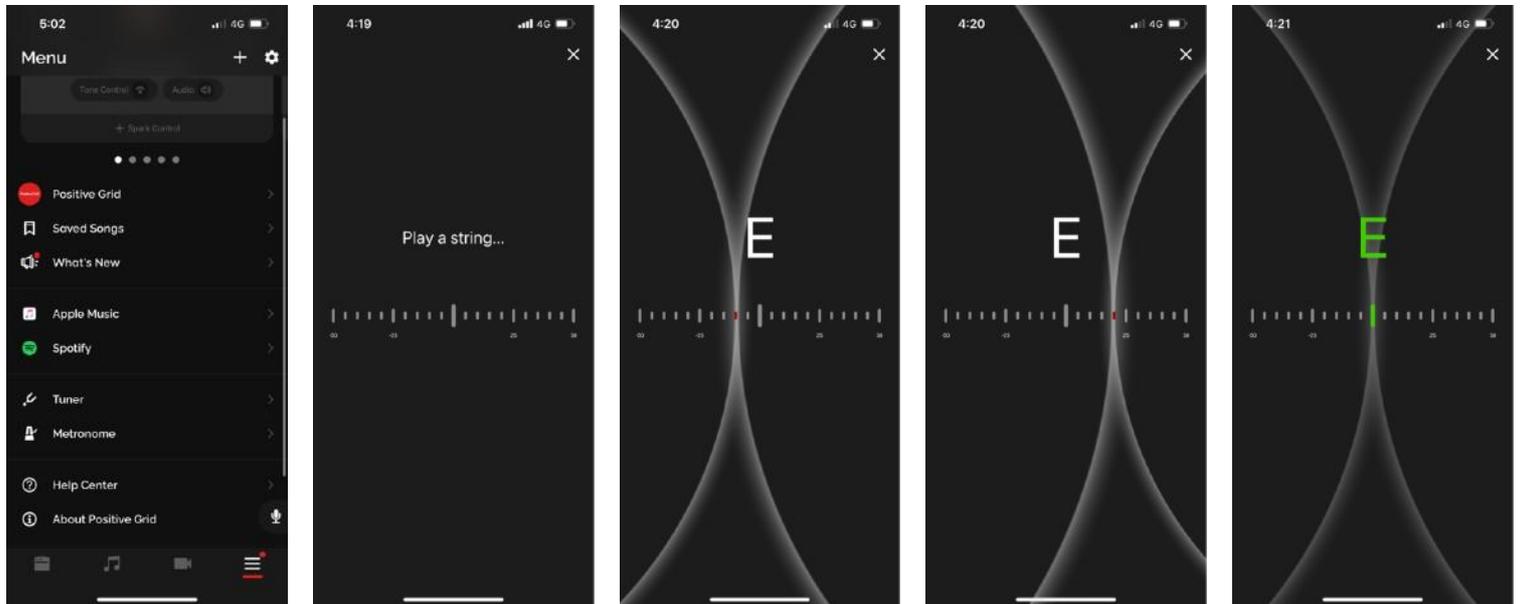
1. 「Check for Update」ボタンをタップすると、Wi-Fiへの接続を求めるダイアログボックスが表示されます。
2. 接続をタップします。Spark LIVEが利用可能なWi-Fiアクセスポイントを検索します。アクセスポイントを選択し、パスワードを入力して接続します。

### ファームウェアの更新

1. Spark LIVEのデバイス情報に入り、「Check for Update」または「Update」をタップして最新バージョンにアップデートしてください。
2. アップデートが完了すると、デバイスは自動的にシャットダウンします。デバイスの電源を入れて接続し、デバイス情報をダブルチェックして、ファームウェアのアップデートが成功したかどうかを確認します。

## その他の利用可能な機能

### Tunerとメトロノーム



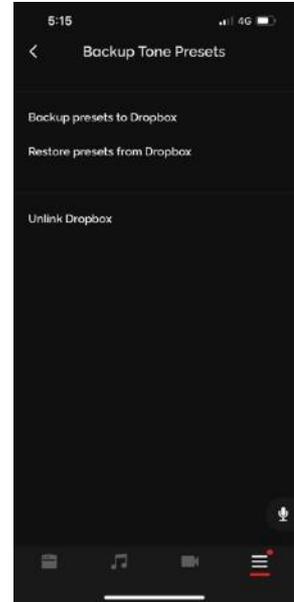
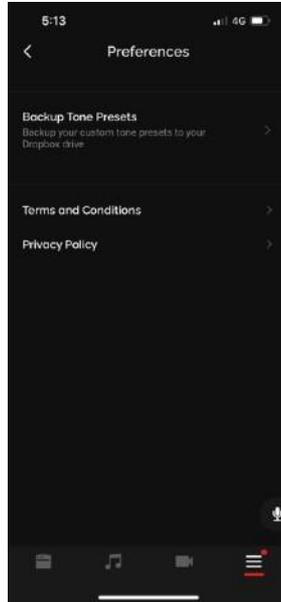
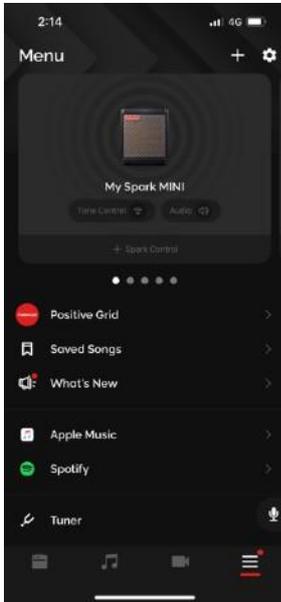
- (A) Tunerとメトロノームにアクセスするには、Menu（メニュー）ページを開き、下にスクロールして目的のツールをタップします。
- (B) Tunerのページに入ったら、楽器を演奏してチューニングを開始します。
1. 真ん中の点より左側にある場合、楽器は目標ピッチより下になっています。
  2. 線が中間点より左側にある場合、楽器は目標ピッチより下になっています。
  3. 線が真ん中に来て、音が緑色に変わったら、チューニングが完了したことになります。



- (C) メトロノームのページで、好みのテンポの数字をタップしてテンポを設定します。外側のリングを押しながら回してテンポを調整することもできます。再生ボタンをタップするとメトロノームがスタートします。

## その他の利用可能な機能

プリセットをDropboxにバックアップできます。（要Dropboxアカウント）



- (A) プリセットをドロップボックスにバックアップするには、メニューページの右上にある  アイコンをタップしてください。
- (B) 「トーンプリセットをバックアップする」をタップし、Dropboxアカウントへログインし、Spark Appをリンクします。
- (C) リンクされたら、Dropboxにプリセットをバックアップをタップしてローカルプリセットをバックアップし、Dropboxからプリセットを復元をタップしてプリセットを復元します。

## オンラインサポート

ユーザーマニュアル、FAQ、サポートチームへのお問い合わせは、オンラインヘルプセンターをご覧ください。 ヘルプセンター：<https://help.positivegrid.com/>

日本国内正規代理店：株式会社メディア・インテグレーション  
<https://www.minet.jp/brand/positivegrid>